



大阪大学総合学術博物館 第25回企画展

ちんどん屋

—宣伝・広告に生きるハブ（集積／中継／交流）芸能—

2023年10月25日（水）～2024年2月17日（土）

大阪大学総合学術博物館待兼山修学館

❖ 概要

大阪大学総合学術博物館は、路上で宣伝を行うちんどん屋をテーマに、その歴史や宣伝に用いられる芸の魅力を紹介する展覧会を2023年10月25日(水)～2024年2月17日(土)の会期で開催します。

ちんどん屋は、扮装をし、歌舞音曲や口上などを用いて、各種の宣伝をすることを生業としています。ちんどん屋が広告の際に用いる芸は、音楽に限らず、語り芸の口調や伝統的な芸能の仕草、時と場合に合わせた衣装など、多種多様です。それらの芸は、過去のちんどん屋から受け継いだものに加え、新しい芸も取り入れるなど、時空を超えた蓄積があります。人々の耳目を集めるため、あるいは気を引くために活用される芸は、ちんどん屋を軸として、芸能の領域を超えて交わり、過去の芸を未来へとつないでいるといえるでしょう。ちんどん屋の芸は各種芸能の時代や種類を問わず集め、交わらせ、繋ぐ、ハブ的な芸といえるのではないのでしょうか。現代においても日本各地や海外などで活躍しているちんどん屋は、私たちの郷愁の中だけでなく生活の中に生きています。

本展覧会では、ハブ芸能としてのちんどん屋の歴史や芸能、交流やコミュニケーション方法など様々な魅力を紹介します。



展示(2ページに主な展示作品を掲載)では、ちんどん屋の歴史を再考するほか、ちんどん屋の担うさまざまな芸についても紹介し、時間的にも芸能的にも多種多様な要素を取り入れている状況を提示します。また、大阪や東京の過去のちんどん屋から受け継いだ衣装なども展示し、現代のちんどん屋がいかに継承しているかをお見せいたします。貴重な映像資料なども披露いたします。

また、展覧会会期中には、月に1回以上、大阪のちんどん通信社(有限会社東西屋)によるまちまわりの宣伝活動を大阪大学総合学術博物館近隣にて行います。詳細な日時については博物館ホームページ等にてご案内いたします。

つきましては、本展覧会の積極的なご周知とご取材をお願い致します。

Press Release

❖ 展覧会概要

【期間】 2023年10月25日(水)～2024年2月17日(土)

【開館】 10:30～17:00(入館は16:30まで) 日曜・祝日休館 **※入館無料**

【会場】 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3F 多目的室

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-20 電話 06-6850-6284

アクセス: 阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前駅」下車、徒歩約10分

【主催】 大阪大学総合学術博物館、大阪大学中之島芸術センター

【協力】 大阪大学大学院人文学研究科、ちんどん通信社(有)東西屋

※詳細は博物館ホームページ参照

❖ 展覧会構成と主な展示作品

- 1 ちんどん屋とは
- 2 楽隊広告
- 3 ちんどん屋の芸
- 4 ちんどん屋のこれから



ちんどん太鼓



獅子頭



第一回全国チンドン博覧会
公式ガイドブック



販売所新規開店披露の折の楽隊広告(大阪麦酒の頃)
(アサヒグループジャパン所蔵)

Press Release

- ❖ 取材申込について
本展覧会についてご取材いただける場合は、原則ご取材希望日の一週間前までに当館ホームページの「ご意見・ご要望」のページからご連絡をお願いします。

申し込み URL(ご意見・ご要望ページ):

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/guide/inquiry/>



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 周辺地図
※公共交通機関をご利用ください。